

平成土佐日記文学賞受賞作品決定



市制施行40周年を記念して創設された土佐日記文学賞「平成土佐日記」部門（県外在住者を対象とした紀行文または随筆）、「おらんく土佐日記」部門（県内在住者を対象とした紀行文または随筆）、「JOMO」旅行記部門（市内の小・中学生を対象とした感想文や旅行記）の受賞作が決定しました。

応募数は、全国各地から「平成土佐日記」部門に62点、「おらんく土佐日記」部門に26点、「JOMO」旅行記部門に12点、総数100点が寄せられました。

「平成土佐日記」部門

最優秀賞『詩人と四万十川』



作者 村上 利雄 さん
(北海道)

（選評）
土佐と北海道の比較文化論を交えて土佐の特色を際立たせている。40年来の文通友達との出会いを通じて、土佐人の人情、自然を文学的なエッセイにうまく盛り込んでいる。四万十川周辺のおすすめしたい場所をくまなく巡って、ひとつの観光案内にもなっているところがすばらしい。

（作者受賞コメント）

作品に登場する詩人の衛さんから、私が知らせる前に受賞祝福の手紙が届いた。新聞で知ったという、彼が主宰する詩誌に彼とのことを書かせていただいたばかりだったことから、新聞を読んだ仲間や愛読者からたくさんの電話があり、祝福されたそう。私はそこに、彼の人徳と土佐人の人情を見る。道産子は、本人の受賞でなければそこまでほしくない。土佐の人情と風物詩を楽しみに、私はもう一度高知空港に降り立たなければならない。

「おらんく土佐日記」部門

最優秀賞『足摺岬のふもとから』



作者 白太 寛 さん
(須崎市)

（選評）
四万十川という名のいわれをたどり、補陀落渡海（アヲトク）の言い伝えを反すうして足摺岬の語源を探るなど考察的なもの・民俗学的なものを交えて、しっかりした文章でつづられており、引き締まった内容となっている。

（作者受賞コメント）

「表現は批評を受けるためにある」と教えてくれた先輩や、この企画を知らせてくれたライバルがいて、応募したわけだった。そして審査員の先生の目をとおして、他の人にも読んでもらう可能性という幸せに巡り合った。「人間を含む生き物は、呼吸や代謝のように環境と相互に交換をし続けながら進化する」と学んだことがある。僕もそうでありたい。

南国市全体が、市内外の人びとと土の交流を続けながら、『生きているまち』として発展されることを願っています。

- ほかの入賞者は次の皆さんです。
- 【平成土佐日記】部門
 - ▼優秀賞／田辺昭子さん
 - ▼特別賞／高橋敬一さん
 - ▼前田紳子さん
 - 【おらんく土佐日記】部門
 - ▼優秀賞／小崎和香子さん
 - ▼山田まさ子さん
 - 【JOMO旅行記】部門
 - ▼中学生の部
 - ▼優秀賞／北村文恵さん
 - ▼努力賞／北村政大さん
 - ▼松岡龍生さん
 - ▼小学生の部
 - ▼努力賞
 - ▼山田夏季さん、山岡由季さん
 - ▼島崎翔さん、四宮亜由美さん
 - ▼上野洋平さん、浜田恵祐さん
 - ▼浜田思乃さん、前田理行さん

平成12年度 市役所人事異動

参事の復活など行財政改革の推進と
災害即応体制の充実強化を図る

異動総数 151名

一般	69名
技師	12名
保健婦	2名
保育士	22名
調理師 (学校・保育)	16名
消防	30名

■機構の改革

- 参事を復活。
行財政改革の総仕上げを行うため、総務課、企画課、財政課を総括し、行財政改革を担当する参事を配置しました。
- 企画課情報管理係の新設。庁内のOA化への対応、地域情報化への対応のため情報管理係を新設しました。
- 保健課保健福祉センター保健指導係の廃止。
県からの派遣保健婦の引き上げに伴い、保健婦のみの係であった保健指導係を廃止し、健康ライフ推進係、保健予防係に統合しました。
- 消防署総務課消防団係の新設。
災害事象等に即応できる消防団の充実強化を図るため設置しました。

■事務改善

保健課国保係で行っていた国保税課税、徴収関係事務を税務課に移管し、効率的な事務遂行を図ります。

- 課長
- ▼参事兼総務課長 竹崎公一 (総務課長)
 - ▼企画課長 岸本敏弘 (保健課長)
 - ▼税務課長 佃洋二 (生活環境課長)
 - ▼保健課長 溝渕勉 (保健課長補佐兼係長)
 - ▼生活環境課長 浜田誠志郎 (生活環境課対策監)
 - ▼同和教育課長 石井守 (下水道課長補佐兼係長)
 - ▼農業委員会事務局長 大川一水 (税務課長)
 - ▼南国市土地開発公社事務局長 比江森浩二 (農業委員会事務局長)
 - ▼社会福祉協議会事務局長 竹田亮 (同和教育課長)
- 課長補佐 (対策監)
- ▼総務課長補佐兼人権啓発係長 石川明美 (保健課保健福祉センター係長)
 - ▼財政課長補佐兼管財係長 井上真実 (社会教育課長補佐兼係長)
 - ▼企画課長補佐兼企画調整係長 川添豊明 (総務課長補佐兼係長)
 - ▼企画課対策監兼情報管理係長 島内暁 (都市計画課長補佐兼係長)
 - ▼保健課長補佐兼給付係長 吉岡道穂 (国体推進室長補佐兼係長)
- 係長
- ▼商工水産課長補佐兼商工観光係長 谷田一男 (財政課長補佐兼係長)
 - ▼都市計画課長補佐兼都市計画係長 吉川勇和夫 (企画課長補佐兼係長)
 - ▼下水道課長補佐兼業務係長 井口善喜 (商工水産課長補佐兼係長)
 - ▼社会教育課長補佐兼社会教育係長 小串一 (社会教育課図書館長)
 - ▼総務課中央福祉館長 森知義彦 (総務課主幹)
 - ▼企画課阿佐線対策係長 光野末吉 (財政課主幹)
 - ▼保健課保健福祉センター保健予防係長 浜田清貴 (商工水産課係長)
 - ▼保健課高齢者介護保険係長 中村さち (保健課係長)
 - ▼保健課国保係長 中田英恵 (財政課主幹)
 - ▼商工水産課企業誘致係長 西川公典 (企画課係長)
 - ▼建設課土木第一係長 吉川宏幸 (建設課技幹)
 - ▼下水道課工務係長 別役規夫 (建設課係長)
 - ▼国体推進室国体推進係長 溝渕慶喜 (国体推進室主幹)
 - ▼会計課主幹 西岡博 (会計課主幹)

人権と輝く未来へ② 人権・同和教育シリーズ

女性問題

男女共同参画社会の実現に向けて

人権問題としての女性問題は、例えば、男は仕事、女は家庭というように、男性・女性の社会的役割を固定的に考えることから起こるさまざまな問題です。

南国市においても、1998（平成10）年4月1日から総務課に人権啓発係を設置し、女性問題への本格的な取り組みを始めました。その取り組みの一例を紹介いたします。



「南国いきいき女性塾」

この女性塾は、男女共同参画社会に積極的に取り組む人材を育成するため、1998（平成10）年度から実施されています。年6回程度、女性問題に関する基礎知識や問題解決の方向などを学習し、討論しています。

「男女均等雇用制度」の制定

この条例は、市の行政機関で「積極的に男女の登用の均等の促進を図ることに努めるとする」と南国市の努力義務をうたっています。

「南国女性ネットワークの会」

男女共同参画社会の実現に向けて、南国市内のいろんな団体をネットワーク化し、学習・行動してもらうための組織です。現在、10団体が参加しています。

「模擬女性議会」

1999（平成11）年10月31日、女性の市政参加へのより一層の促進のために、第1回女性模擬議会が開催されました。多くの参加者から市政へのさまざまな提言がなされました。

南国市では、このほかにも「女性問題学習会」の開催、男女共同参画新聞「ハーモニ」の発行などを行っています。

男女共同参画社会の実現に向けて、皆さんの積極的なご参加、ご協力をお願いします。



4月で高3になる受験生です。

- 幹）▼福祉事務所社会係長 前田律子（保健課係長）▼社会教育課図書館長 岩原良一（総務課中央福祉館長）▼水道局給水係長 岩崎明雄（福祉事務所係長）▼水道局営業係長 中沢孝夫（議会事務局主幹）

保育

- ▼長岡東部保育所長 岩崎千恵（岡豊保育所長）▼岡豊保育所長 島崎明美（明見保育所長）▼稲生保育所長 高橋早苗（稲生保育所主幹）▼大湊保育所長 森本幸子（稲生保育所長）▼明見保育所長 星沢一子（長岡東部保育所長）

消防

- ▼副署長 岡田豊（予防課係長）▼総務課消防団係長 溝瀧康功（総務課主任）▼予防課予防係長 山下道雄（予防課主任）▼第2消防係長兼隊長 岩下清仁（第1救助隊長）▼北部出張所副所長兼第2消防係長 徳久哲夫（第1消防係長兼隊長）▼第1消防係長

兼隊長 岡林則雄（第2消防係長兼隊長）

学校

- ▼十市小学校主任 橋田秀子（十市小学校技幹）▼国府小学校主任 岩川富子（国府小学校技幹）

（掲載は係長相当職以上）

新規採用者（4月1日付け）

- ▼岡崎博英（税務課）▼上西美穂（保健課）▼志和美保（保健課）▼米持勝（農林課）▼土居真範（消防署）▼高橋雅兄（同和教育課）▼西尾洋之（学校教育課）

退職者（3月31日付け）

- ▼池内道子（瓶岩幼稚園）▼上田清幸（下水道課）▼元吉伸一（総務課）▼松岡恵美子（大湊保育所）▼野中雄二（社会福祉協議会）▼清岡若江（会計課）▼徳橋廣満（消防署北部出張所）▼岡田万里子（総務課）▼柴岡和生（学校教育課）